湯山地区タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：湯山地区のまちづくりについて』　令和7年4月18日（金）19：00～

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と  対応時期 | 対応策または  不可能な理由等 | 担　当　課 |
| 1 | 高齢者の入浴料助成制度をマイナンバーカードの提示で入れるようにしてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、高齢の方や障がいのある方の健康維持と地域の  ふれあいを深めるため、道後温泉「椿の湯」を含む市内の公衆  浴場（７カ所）の入浴料を助成しています。限られた財源で  多くの方に利用していただくため、年度で５０回までに  しています。  　マイナンバーカードを使う仕組みは、資格や回数を確認する  ため、民間施設でも利用できる専用のシステムやカードリーダー  （読み取り機）の導入など、検討すべき課題もあります。  　引き続き、市民の皆さんが利用しやすい方法を検討します。 | 福祉推進部  長寿福祉課  高齢者対策担当  089-948-6842 |
| 2 | 湯の山団地から瀧見橋に向かって下りる道（県道４０号線）を中学生が安全に通学できる対策をしてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 県道４０号線は、道路管理者の愛媛県が、車の運転者に  注意を促す減速マークや、グリーンベルトの設置など、  安全対策を行ってきました。  今回のご意見を受け、松山市では５月中に、湯山小学校や  中学校の関係者、松山東警察署、愛媛県等に呼びかけ、  通学路の合同点検を行い、その中で対応策を早急に検討します。  　また、令和５年度から、防犯や交通に詳しい警察ＯＢを  「スクールガード・リーダー」に任命し、自転車の安全な  乗り方や危険箇所を生徒の皆さんにお知らせするほか、  登下校の見守りなどもお願いしています。  　今後も地域の皆さんと行政が連携し、子どもたちの安全安心を守る活動に取り組んでいきます。 | 都市整備部  道路河川管理課  道路担当  089-948-6478  教育委員会  教育支援センター事務所  健全育成・問題行動担当  089-943-3205 |
| 3 | 末町のローソン前は、朝夕の通勤ラッシュの渋滞がひどいので、信号が変わる時間などを考えてほしい。  また、瀧見橋に新しくできた感知式の信号がなかなか青に変わらなくて、かなり待つようになった。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | ご意見をいただいた場所は、国道や県道が交わる交通量の  多い道路で、信号などの交通規制は警察が担当しています。  タウンミーティング終了後に、感知式信号機の時間を調べた  ところ、待ち時間は最大で２分５秒でした。  今回のご意見を受け、松山市では５月中に、湯山小学校や  中学校の関係者、松山東警察署、愛媛県等に呼びかけ、  通学路の合同点検を行い、その中で対応策を早急に検討します。 | 都市整備部  道路河川管理課  道路担当  089-948-6478 |
| 4 | 県道４０号線を自転車で登校しているときに、ペットボトルなどのごみでこけそうになって危なかったので、道路のごみを少なくしてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、各地区の市道を定期的にパトロールカーで  巡回するほか、市民の皆さんから通報があると速やかに現場に  向かい、道路のごみや落下物を回収しています。  また、啓発用の看板を配布したり、市民向けの環境学習を  開いたりして、ポイ捨て防止を呼びかけています。  県道４０号線を管理する愛媛県に、いただいたご意見を  お伝えしたところ、下記の回答がありました。  【愛媛県中予地方局】  愛媛県でも、県道をパトロールカーで巡回し、ごみなどの  落下物を見つけた場合は回収しています。今後も、安全安心で  きれいな道路の維持管理に取り組んでいきます。 | 都市整備部  みち水路メンテナンス課  工事担当  089-948-6471  環境部  環境・ゼロカーボンシティ推進課  調整・評価担当  089-948-6434  都市整備部  道路河川管理課  道路担当  089-948-6478 |
| 5 | 人口減少で、コンパクトシティの考え方があると思うが、周辺地区はどのように考えているか、自動運転の普及で駐車場が不要になるなど変化もあると思うが、これからどのようにしていきたいのか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、人口減少や少子高齢化を背景に、中心市街地や  拠点となる駅の周りに、住む場所や施設などを集め、公共交通  などで効率的につなぐ「コンパクト・プラス・ネットワーク」で、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。  また、バスの運転手不足を解消し、公共交通を維持するため、交通事業者などと連携し、令和６年１２月から、自動運転  （レベル４）を始めています。  今後は、最新技術を使った交通手段に注目し、交通事業者との連携をさらに強化して、「歩いて暮らせるまちづくり」を  進めます。 | 都市整備部  都市・交通計画課  地域デザイン担当  089-948-6846 |
| 6 | 地震が起きた時に、玄関が一番物を置いていなくて安全だと聞いたことがあるが、本当か。  また、私はベッドの横に靴とヘルメットを置いています。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 住宅の構造や物の置き方で異なりますが、壁や柱で囲まれ、  ガラス窓が少なく、物が倒れたり落ちたりしない場所が、  地震の時に比較的安全とされています。  　そのため、家具固定をするほか、避難経路を確保するため、  高いところや出入口の近くに物を置かないようにすることが  大切です。  　さらに、就寝中の地震に備え、寝室には靴やヘルメット、  懐中電灯を置いたり、飲料水や食料、貴重品などを、  「非常用持出袋」にまとめたりしておくことも大切です。  　松山市では、各家庭に配布し、ホームページでも見ることが  できる「まつやま総合防災マップ」に家の中の防災対策や  備蓄品などを紹介していますので、参考にしてください。 | 防災危機管理部  危機管理課  危機管理担当  089-948-6794 |
| 7 | 民間の介護事業者と地域は、防災のことでコミュニケーションが十分に取れていないと思うので、いざという時に連携できるよう市にも協力してほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、それぞれの福祉施設が作る災害時の避難や  防災訓練などの計画が適切に運営されているか確認し、  地域の皆さんと連携した訓練を促しています。  　すでに一部の施設では、地域の防災訓練に参加したり、  施設での訓練を、自主防災組織や消防団、松山市などと一緒に  行ったりして、地域とのコミュニケーションを深めています。  　今後も、福祉施設、地域住民、行政が一緒になって、  地域で助け合うための連携を強化し、安全安心な地域づくりに  取り組んでいきます。 | 福祉推進部  指導監査課  介護事業者指定・指導担当  089-948-6968  防災危機管理部  危機管理課  危機管理担当  089-948-6794  消防局  予防課  火災調査担当  089-926-9247 |
| 8 | 地区の避難訓練が１度もないので、お年寄りや小さい子どもまで参加できる避難訓練をしてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 各地区では、自主防災組織連合会を中心に松山市も  協力して、子どもから高齢の方まで参加できる防災訓練や  研修会などを行っています。  　湯山地区では、５月１８日に湯山中学校で防災訓練を開催  します。公民館の各分館で回覧するチラシなどを使って  お知らせし、質問された方には、直接電話でご案内しました。  当日は、安全な避難経路を確認するほか、ＡＥＤや消火器の  使い方などの訓練を予定しています。（５月１６日時点）  　今後も、地域の皆さんと行政が一緒になって、安全安心な  まちづくりに取り組みます。 | 防災危機管理部  市民防災安全課  市民防災担当  089-948-6795  消防局  東消防署  消火第１担当  089-933-0876 |
| 9 | 公園の時計がずれているので、約束の時間を守れないことがあった。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、市内のすべての公園にある設備や遊具を定期的に点検しています。  湯山地区では、４月１２日に点検を行いました。ご意見の  あった湯の山第一公園（中央公園）も同じ日に点検し、  湯の山東第１公園の時計は、時刻のずれを修正しました。  タウンミーティング終了後にも、改めて職員が現場に行き、  時計が正確に動いていることを確認しました。  今後、時計のほか遊具やベンチなどの故障を見つけた場合は、遠慮なく公園管理課（０８９－９４８－６４９９）に  ご連絡ください。 | 開発建築部  公園管理課  維持管理担当  089-948-6499 |
| 10 | 地震で空き家が崩れて隣家などに被害があったらいけないので、空き家のチェックなど、市として活動していることはあるか。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 平成２７年度の実態調査で、市内には約８,５００棟の  空き家があることが判明し、空き家率（総住宅数に占める  空き家の割合）は、約３.５％でした。  そのうち、危険な空き家は約２,７００棟で、令和３年度の  追跡調査でも、約１,８００棟あることが分かりました。  松山市では、近くに住む皆さんの安全安心な住環境を守る  ため、空き家の所有者に、適切な管理を指導する文書を送ったり、  職員が自宅を訪問して直接説明したりしています。  平成３０年度からは、倒壊のおそれがあるなど危険な空き家の  解体費用の一部を補助し、これまでに約２７０棟が解体され  ました。  今後も地元の方々や関係機関と連携しながら、空き家問題の  解決に取り組みます。 | 開発建築部  住宅課  空き家対策担当  089-948-6934 |
| 11 | 登校中、末町のローソン前で赤信号で通る人や、よそ見をして青信号に気づかない人がいて危ないと思うので、対策はないか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、子どもから大人まで、幅広い世代を対象に  交通安全教室を開催し、交通ルール遵守とマナー向上に  取り組んでいます。  スマホなどに気を取られてよそ見をすることや、信号無視は、とても危険な行為です。松山市は、警察や関係団体と連携し、  重点的に啓発していきます。  今回のご意見を受け、松山市では５月中に、湯山小学校や  中学校の関係者、松山東警察署、愛媛県等に呼びかけ、  通学路の合同点検を行い、その中で対応策を早急に検討します。 | 都市整備部  都市・交通計画課  交通安全担当  089-948-6446  道路河川管理課  道路・計画担当  089-948-6478 |
| 12 | 防災の話を聞いても、実際に行動する人は少ないと思うので、市から家具固定などの防災グッズを全世帯に配布してはどうか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、防災対策として、市民の皆さんに自分の身は  自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」をお願いして  います。また、防災マップや家具転倒防止対策のチラシを配布  するなど、情報発信にも取り組んでいます。  　令和元年度の松山市市民意識調査では、およそ６割の方が  家具固定や落下防止策を実施していました。  　なお、限られた財源を有効に使って、市民の皆さんの命を守るため、松山市では、古い木造住宅の耐震診断や耐震改修の費用の  一部を支援する補助に力を入れています。  建築指導課（０８９－９４８－６５１２）までお気軽に  ご相談ください。 | 防災危機管理部  危機管理課  危機管理担当  089-948-6794  開発建築部  建築指導課  監察・防災担当  089-948-6512 |
| 13 | 人が倒れていてＡＥＤが近くにない場合、どうしたらいいか。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 倒れている人を見つけたら、慌てずに行動することが大切  です。安全を確認しながら近づき、肩をやさしくたたきながら  大声で呼び、目を開けるなどの反応があるか確認してください。反応がない時や、自分が不安な時はすぐに大きな声で応援を  呼んで、１１９番通報をお願いしてください。  救急車が到着するまでに、胸骨圧迫などの応急手当を行うことで、社会復帰率が約３倍になることが分っています。  消防局では、応急手当を学べる講習を行っていますので、  東消防署湯山救急出張所（０８９—９１４－０１６０）や  救急課（０８９－９２６－９２２７）までご連絡ください。  【胸骨圧迫の方法】  呼吸をしているか分からないときは、片手の付け根を胸の  真ん中にあて、もう一方の手を添えて１分間に１００回から  １２０回リズムよく強く早く押し続けてください。 | 消防局  救急課  救急管理担当  089-926-9227 |
| 14 | 公園に１台ずつＡＥＤを設置したら救命率が上がるのではないか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | ＡＥＤは、万が一の時に故障なく安全に使えるよう、  定期的な点検が必要で、盗難や破損を防止し、管理できる場所に設置しています。  松山市では、学校や文化施設、運動施設などのほか、市内の  公園では、人の多く集まる松山総合公園や松山中央公園などに  置いています。  　なお、近くにＡＥＤがない場所で、倒れている人を見つけたら、すぐ周囲に助けを求めてください。応急手当ができる場合は、  適切に対応することで、助かる命があります。  　消防局では、心肺蘇生法やＡＥＤの取扱いなどの救命講習を  行っています。大切な人の命を救うために、正しい知識と技術を身に付けましょう。 | 開発建築部  公園管理課  維持管理担当  089-948-6499  消防局  救急課  救急管理担当  089-926-9227 |
| 15 | 身近な場所で何度もイノシシを見かけるので、こわいと思っている。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 近年、イノシシは、山間部などで農作物を荒らすだけでなく、人家近くの出没も増えています。松山市では、猟友会等と  協力し、田畑近くへの箱わなの設置や、防護柵の整備を  支援することで、追い払いや捕獲に取り組んでいます。  身近な場所でイノシシと出会った場合は、慌てず、騒がず、  刺激しないでゆっくりと、その場を離れてください。  もし襲ってきたら、決して反撃せず、建物や車に避難するなど、安全を確保し、警察に通報してください。松山市は、警察からの  連絡を受けて現場に駆けつけ、猟友会等と連携して対応したり、学校への注意喚起を行ったりして、子どもたちに安全を  呼びかけます。 | 農林水産部  農林水産振興課  鳥獣対策担当  089-948-6567 |